

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

～ 業務改善支援を行うにあたり ～

1. これまでの業務改善は・・・

- ・ 労務（給与・社保）や経理（記帳代行）などの既存業務を専門家へ「まるごとアウトソーシング」することで社内業務を削減
- ・ 手作業で行っていた業務について、社内にシステム（または Excel などのツール）を導入することで効率化
→ すでに実施している会社が多いが、本当に業務を改善できているか？

2. 最近の業務改善は・・・

- ・ アウトソーシングだけではなく、社内業務プロセスの評価（フローが適切・問題ないか？効率的か？）がニーズに
- ・ プロセスの可視化、整理をしたうえで、アウトソーシングから内製化（自計化）することも
→ これまでの業務改善での「課題」が顕在化？
 - ・ アウトソーシングしているものの、社内の工数削減がうまくいかない
 - ・ システムは導入しているものの、効率化できていない
→ 業務全体（森）を考えず、作業（木や枝）ばかり見ていたのでは？

3. 今後取り組むべきこと

- ・ ニーズ（引合に至った背景）を適正に見極める
例）「社会保険事務をアウトソーシングしたい」という引合に対し、
 - ・ 担当者の知識が低い、ミスが多い → 実務研修 / マニュアル作成支援 / 助言支援
 - ・ 人手（リソース）が足りない → システム選定・導入 + フロー改善援、等々
→ アウトソーシングは業務改善・効率化の手法の一つでしかない（この会社はアウトソーシング支援が適切か？
本当のニーズ、取り組むべき改善策は他にないか、見極めが必要）
- ・ 真のニーズの周辺にも目を向ける
→ ニーズは一つではなく、様々な事情が入り組んで発生しているはず
（そもそも、真のニーズを認識していない場合、その周辺ニーズも認識できていない）
それらのニーズをスピード感をもって解決することが求められる時代に